

4月1日より

高齢者の公共交通運賃無料化事業が始まります

高齢者の積極的な社会参加の促進、公共交通の利用促進、運転免許証を自主返納した高齢者の支援を目的とし、公共交通（バス・デマンドタクシー等）の無料化を実施します。利用にあたっては、事前に『高齢者無料乗車証』の交付申請が必要です。

※制度の詳細については、広報にほんまつ2月号10ページをご覧ください。

『高齢者無料乗車証』

の申し込み方法

高齢福祉課（市役所1階）または各支所地域振興課に備え付けの申請書に必要事項を記入の上、提出してください。

※印鑑をご持参ください。

※75歳に達する月の前月から申請が可能です。

※申請書は市ウェブサイトからもダウンロードできます。

◎問い合わせ・申請先:

・二本松地域にお住まいの方
高齢福祉課長寿福祉係

☎(55)5114

・安達地域にお住まいの方

安達支所地域振興課

☎(23)9074

・岩代地域にお住まいの方
岩代支所地域振興課

☎(65)2818

・東和地域にお住まいの方
東和支所地域振興課

☎(66)2500

二本松市で暮らし

あなたを支援します

大卒者等の定住促進を図り

若い世代の人口減少を抑制することを目的に、大学等を新規に卒業して市内へ定住し就

労する方に『大卒者等定住促進奨励金』を支給します。

奨励金 最大30万円

対象者

①正規雇用された時点において、奨学金または教育ローンの返済残高がある方

②平成30年4月1日以降に、

二本松市内の事務所、店舗、工場、保育所、幼稚園等在新規で正社員または正職員として雇用された方

※公務員、契約社員、嘱託、パート、アルバイト、臨時雇用者、市税滞納者は除く。

③学校教育法に規定する大学、大学院の修士課程、大学院

の博士課程、短期大学、専修学校（教育・社会福祉分野の専門課程に限る）および高等専門学校を卒業後、

1年以内の方

④二本松市内に永住の意志をもって居住する方

申請方法 企画財政課（市役所4階）に備え付けの申請書に必要事項を記入の上、提出してください。

※申請書は市ウェブサイトからもダウンロードできます。

申請書添付書類

(1)大学等の卒業証明書または卒業証書の写し(2)就職したことを証する書類(3)奨学金または教育ローンの返済残高を証する書類(4)申請日以前1カ

月以内の住民票（二本松市のもの）(5)誓約書(6)申請日以前1カ月以内の納税証明書（課税がない場合、課税証明書）(7)振込口座となる預金通帳等の写し

◎問い合わせ・申請先:

企画財政課地方創生・新エネルギー推進係

☎(24)7120

Fax(22)7023

東京農工大学大学院農学研究院 と 連携協定締結

大学院

農業の復興・振興に向けた調査研究の成果



大学生等の農家民宿での受け入れや、特産品の連携開発

二本松市

1月18日、二本松市と東京農工大学大学院農学研究院が、農業などの地域振興を目的に連携協定を締結しました。

同大は東日本大震災後の2011（平成23）年後半から、市内東和地域のNPO法人ゆうきの里東和ふるさとづくり協議会と連携し、放射性物質による農耕地の汚染状況を調査しながら、農業復興に向けた支援や農業振興につながるバイオ肥料技術の開発を進めてきました。

今回の連携協定では、同大が調査・研究してきた成果を二本松市全体で生かしていこうと結ばれ、稲作収量増加で結果が出ているバイオ肥料技術や高品質の多収穫米栽培などの確立を目指していきます。

締結式に出席した千葉一裕同研究院長は、「グローバル化の時代、食糧生産は大きな問題となる。地域文化の維持や農業の継続のために知恵を絞っていききたい」と述べました。



協定を結んだ千葉院長（写真左）と三保市長

二本松市内の郵便局と 包括連携協定を締結

市内17カ所の郵便局とはこれまで、「災害発生時及び平常時における地域活動に関する協定」を平成29年8月に締結していましたが、地域の経済活性化に関することなどを新たに盛り込んだ包括連携協定を1月29日に締結しました。

今回の協定では、災害時にお互いが避難者リストなどを共有したり、郵便配達業務に子どもや高齢者の異変に気付

いた場合などに市に連絡するといったこれまでの協定に加え、郵便局のネットワークを活用し、地元物産の振興や移住支援など、地域経済の活性化においても連携を図ることとしました。締結式には、田川弘二本松郵便局長と太田浩幸岩代郵便局長、日本郵便(株)東北支社・地方創生専門役の浅野不二男さんが出席しました。

◎問い合わせ:

企画財政課企画調整係

☎(55)5090
Fax(22)7023

第3回 二本松市未来戦略会議が開催されました

今年度から始まった『二本松市未来戦略会議』の第3回目が2月15日、市役所で開催されました。二本松市の将来の発展に向けて、専門的な知識や民間の経営的な観点から幅広い意見を求めるために開催されるこの会議は、市内外で活躍される全16人の委員で構成されています。

今回の会議では、未来戦略のキーワードとして「観光」

「歴史・先人」「教育」「街づくり」「産業」「ひと」などが挙げられ、『全ての市民が豊かさや幸せを実感でき、50年先の100年先の次世代を見据えた礎を築くためには、市の特性や独自の資源を有効に活用することが必要で、若者の力を活用するためにも、人材育成に積極的に取り組む必要がある』などが提言されました。

◎問い合わせ:

企画財政課企画調整係

☎(55)5090
Fax(22)7023



写真左から、太田局長、三保市長、田川局長、浅野専門役

市民が主役。

市長からの手紙

道の駅

道の駅は、長距離ドライバーや女性・高齢者のドライバーが増加するなかで、道路利用者のオアシス、地域との連携の核として、さらには地域振興と観光交流、情報発信、地域活性化の拠点として、皆さんに潤いと感動をお届けしてまいりました。

また自然災害や東京電力福島第一原子力発電所事故などの際は、防災拠点として被災情報の発信や炊き出しなどが行なわれ、災害救援、支援、避難所としても大きな役割を果たしております。

二本松市には、特色ある3つの道の駅があります。道の駅「安達」は国道4号沿いであり、上り線と下り線それぞれに整備しており、年間約120万人の方々にご利用いただいております。道の駅「さくら」は、国道349号と459号の交わる場所に位置し、合戦場のしだれ桜を中心として桜の名所が連なる「いわしろさくら回廊」のなかにあります。道の駅「ふくしま東和」は、国道349号を利用される方々のオアシスとして、顔の見える交流を通して、



二本松市長
三保 恵一

地域間交流と地域資源循環に大きな役割を果たしています。また道の駅は、オンラインの「食の宝庫」でもあります。地域で採れた新鮮な野菜や果物、加工品を多数取りそろえており、二本松の食を堪能することが出来ます。各道の駅の詳細については、本紙の2・7ページをご覧ください。

道の駅の利用には、ドライブのついでに立ち寄るだけでなく、道の駅を目的地にした旅行も良いですし、3つの道の駅と「安達ヶ原ふるさと村」、「スカイピアあたら」をハシゴするのもオススメです。またこれらの施設をお楽しみいただいた後は、少し足を伸ばして霞ヶ城公園や観音丘陵遊歩道、さらには智恵子抄で知られる智恵子の生家、安達太良山や岳温泉、名目津温泉などもございますので、この機会にぜひ二本松の魅力を堪能していただきたいと思います。

「ひと」「まち」「みらい」をつなぐのが「道の駅」です。道の駅を活用した地域振興と交流を推進し、笑顔あふれる『新生二本松市』の実現に向け、大きく踏み出してまいります。